

## 令和元年8月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和元年8月23日（金）午後1時30～午後2時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞、毎日新聞、NHK、  
SAY、NCV、置賜日報デジタル

<市> 市長、秘書広報課長、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 今年も暑い日が続いていますが、昨年の渇水対策から教訓を得て今年新たに取り組んでいる対策はありますか。また、昨年は猛暑の中、渇水対策の一つとして市営プールや小学校のプールが早期閉鎖になりました。子どもたちにとっては貴重な夏休みの体験の機会が失われたわけですが、市長はそのことについてどう考えていましたか。
- (2) 参議院選挙で市長も支援に回った自民党現職が敗戦したことをどう受け止めていますか。
- (3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

それでは、定刻となりましたので、令和元年8月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに、市長から質問に答えさせていただきます。

○市長

よろしく申し上げます。今回は2つ質問を頂戴しております。まず「昨年の渇水対策から教訓を得て今年新たに取り組んでいる対策はありますか。また、昨年は猛暑の中、渇水対策の一つとして市営プールや小学校のプールが早期閉鎖になりました。子どもたちにとっては貴重な夏休みの体験の機会が失われたわけですが、市長はそのことについてどう考えていましたか」という質問についてです。

今年度は新たな地下水源の確保を図るために、地下水源の調査を実施することになっております。地盤沈下の影響を避けるため、市街地（都市計画用途地域）を除く地点での調査を予定しております。また、現在休止している窪田町藤泉の水源が利用可能か、水質と水量の調査を行うことにしております。

もう一点目は、渇水対策の調整会議についてです。これは綱木川ダム渇水時の水利

用の調整が必要と判断される時に「綱木川ダム利水調整協議会」を設置するというものです。この事務局は置賜総合支庁建設部河川砂防課が担当しております。昨年度は貯水率が30%を目安に開催されたという経過があり、渇水時に県水を受水するため、総合支庁と連携を取った訳であります。判断が遅かったのではないかとということもあり、現在は貯水率50%を目安に調整会議を開くということにしております。

ちなみに、現在のダムの水量であります。綱木川ダムにつきましては8月20日の9時現在で、貯水率は89%となっております。水窪ダムは8月19日9時現在で57.3%となっております。このようなことで、早めの対応を県と協議をしながら進めていくということを検討させていただきました。また、昨年のように給水制限がある場合には置賜広域水道を受水している米沢も含めて、二市二町の間で受水量の調整、融通を図ることができるように協議していくことを確認しています。

市営プールや小学校のプールが早期閉鎖になったことについて、今年は夏休み前まで大分涼しい夏が続いておりましたが、昨年は夏休み前から毎日暑い日が続き、そして同時に渇水が平行して進んでいきましたので、どうしても多く水を使う分野について、特に市営プールや小学校のプールについては、早期閉鎖をさせていただきました。昨年は授業もできないくらいの暑さだったとのことで、冷房設備の要求もあった訳でありますので、相当暑かったのだろうと思います。そういった時期にプールを使えなかった子どもたちにとっては、渇水対策とはいえ、かわいそうな想いをさせてしまったと思っております。本当に申し訳なかったなという思いです。

次に、「参議院選挙で市長も支援に回った自民党現職が敗戦したことをどう受け止めていますか」という質問についてです。13市のうち12市の市長が現職を応援しておりましたが、結果として敗戦という形になりました。このことについては、選挙結果であり、民意の表れだと思っておりますので、どう受け止めますかということについては、そういった民意の表れだったのだろうという受け止め方をしております。

○秘書広報課長

質問に対する市長からの回答は以上です。他に質問がありましたら幹事社を中心によろしくお願ひします。

○幹事社

はい。一つ目に関して、私から質問です。地下水源の調査を行うということでしたが、具体的な時期や場所は決まっておりますか。

○市長

現在、上下水道部に任せておりますが、調査を行う場合にも土砂災害等も考えながらしっかりと検証するという話も議会でありました。そういったことも含めて上下水道部の中で場所、時期について検討しているところです。

○幹事社

具体的なところはまだ決定していませんか。

○市長

私のところにはまだ報告は上がってきておりません。

○幹事社

いつ頃までにという目途などはありますか。

○市長

降雪前にしなければならないと思います。ただ、水源調査というのは雨がどんどん降っているときというのは良くない訳です。冬の時期が一番良いと思いますが、そうなると大変ですので、ある程度水盤が下がっても水量が確保できるという考えもあるでしょうから、そういったことも含めて水道部の方で検討しているのではないかと考えております。

○幹事社

一つ目に関して、各社から質問はありますか。無いようですので、二番目の事項について私から質問です。「民意の表れ」という言葉で表現されましたが、どのような民意と受け止めているのでしょうか。

○市長

民意というのは結果ですので、芳賀さんが勝利なされた。その票がどのくらいあって、大沼さんにはどのくらいあった、それが私は民意だと思っております。

○幹事社

市長個人の見解かもしれませんが、どこが争点でこのような結果になったと思われませんか。

○市長

私は正直、争点というのがあったかどうか分かりませんが、それぞれの想いがあったのではないのでしょうか。

○幹事社

各社からはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、その他について私から二点ございます。まず、大沼が閉店しましたが、率直に市長がどのように思っているのかと中心商店街活性化に向けた今後の取り組みを聞かせていただければと思います。

○市長

はい。大沼は米沢でも一番早い大型店舗であり、非常に歴史もあった訳であります。そして、閉店についてはある時期からご連絡をいただいております、私も8月15日に買い物に行きました。その中で、従業員の方と「寂しいね」という話もしてまいりましたので、残念だなという思いです。

また、ポポロ跡地も含めて今後どのように中心商店街を活性化していくかということですが、大沼はひとつの砦であったということは言えるのではないかと考えています。閉店したことによって、今後、土地利用をどのようにしていくかについては大沼側の考え方もありますし、しばらくは一階を使って外注関係などもなさるといった話も聞いております。ただ、それは一般の小売りということではなく、そういった方々への対応だと思っております。いずれ、どのような形になるかは分かりませんが、跡地利用をどのように考えておられるのか、まだ決まってないという話も聞いておりますので、新た

な動きがどう出てくるのかもしっかりと見据えたいと思います。

ポポロ跡地につきましては、民間に移られたという話も聞いております。急いで何をやるということではなく、じっくりとあのエリアの今後の在り方を考え、行政だけでは解決しませんので、経済界ともどのようにすり合わせをしていくのかが、大きな課題になってくると思ってしております。急いでばたばたという形ではなく、どのような機能を持たせるのかも含めて、しっかりと検討していかなければならないと思っております。

○幹事社

大沼跡地を市で取得するという考えはありますか。

○市長

現在そのような話にはなっておりませんので、私としては買うか買わないかと言われれば、取得する方向ではないと思っております。

○幹事社

中心商店街をはじめとする要望が来たとなれば検討はされる訳ですよ。

○市長

どのような機能を持たせるのか、開発した場合に運営できるのか、市としてどう関わっていけるかというものも考えていかなければなりませんので、そういう要請が今後どのように出てくるのかだと思っております。市が所有してこうだという考えは今のところ持ち合わせていません。

○幹事社

ありがとうございます。私からもう一点、市長選について質問です。中川市長にとっては一期の総まとめが二期目の公約になるのかなと思うのですが、何が柱となる市長選だと考えていますか。

○市長

私は4年間で前任者からの積み残しを進めてきました。これについては議会での議論なども行ってきた訳でありまして、手が付けられておらず、住民の方々からもどうなるのかという話もありました。一つは市立病院の改築、あとは就任前から議論されてきた小中学校の統廃合などです。また、財政改革も急務でありましたので、この三つについてなんとか対応していかなければならないと思っておりました。

特に、財政問題についてはここがしっかりとしていかないと大きな事業に手を付けることは難しいであろうという判断もありました。就任前から財政健全化計画は立てていたようですが、そういったものに基づいて健全化を図りながら、病院などの大きな事業についても取り組んできました。これから人口減少が進んでいく中で、三友堂と機能を分担しながら医療の充実を図っていくことは、それぞれの地域住民の皆さんにとってはある意味、利用しやすい病院になるということでもあります。また、我々からしてみると、コストをかけないで医療の充実を図るという意味では医療連携は非常に重要だという思いがあり、三友堂さんとの医療連携を進めてきたところです。何よりも重要な課題だったのは、どちらの病院にしても医師の確保が大変で、このこと

が救急医療や夜間診療に影響を与えてきたということもあります。医療連携を進めていく中で、中心的な役割を果たしていただいたのは、山形大学医学部でありました。しっかりと方向性は出しましたが、これから詰めていかなければならない部分もあり、予算もはっきりとした額が提示された訳ではありませんが、長年に渡る米沢の課題ですので、ここは市民の皆さんにしっかりと方向性を示したいと思っております。

その他にも一期四年で、住民要望から上がった課題や手が付けられないできたものもありますので、財政とのすり合わせの中で、対応できるものはやっていきたいなと思っております。

○幹事社

住民要望の中で手が付けられなかったもので、大きいものは何でしょうか。

○市長

やはり子育て支援に係る屋内遊戯施設だと思います。間もなくオープンしますが、すこやかセンターの木育広場を拡張して、当面、子育て支援に対応したいと思っておりますが、やはり住民の要望は単独の屋内遊戯施設が欲しいということで、ここはしっかりと次の四年間の中で取り組んでまいります。

○幹事社

ありがとうございます。その他に各社いかがでしょうか。

○記者

8月臨時会で、天元台の修理費と運営支援の金額についてありましたが、修理の方はすぐということだと思のですが、天元台の運営支援というところで、4,000万円余りを支出する理由と必要性を改めてお伺いしたいと思っております。

○市長

今回の突風による搬器の事故については、一日も早く修理していただきたいと思っております。そうでないと天元台そのものの経営についても関わってまいりますので、おのずと利用客も減ってくるという状況の中で、経営的にも大変だということもあります。米沢市が株式会社天元台に経営を委託している訳でありますから、そこは、米沢市として一定程度の関わりは持っていかなければならないだろうということで、このような判断をいたしました。

私からするとスノー期前には直してもらいたいなという思いです。今はグリーン期の大切な時期であり、湯本駅から天元台まで代替車での送迎はしていますが、やはり魅力的なものはゴンドラに乗ってということになると思います。今後、スノー期においてもグリーン期においても、もっと利用してもらえるような、米沢市は米沢市の対応をしていかなければならないだろうし、また、それを株式会社天元台もどうしたらもっと天元台に来ていただけるかということは、双方で考えていかないといけません。このことは天元台にも申し入れをしてまいりました。

細かいことで良いのでいろいろな事業を考えながら、天元台に来ていただくということは指示しております。どのような根拠で運営支援をするのかということもありましたので、米沢市も天元台もしっかりと取り組んでいきたいと思っております。このこと

について「なぜ」という声もない訳ではないので、天元台に来ていただけるよう利用拡大について検討しなさいと指示をしております。

○記者

私も天元台には期待しているのですが、議会でのやり取りを聞いていて、今回、搬器の保険に入っていなかったということは、事故が起きてから初めて認識したという市の見解になっているようでした。今回、新たな保険に入ろうと探しているとのことですが、それによって保険料が高騰する可能性も考えられます。そもそもあの搬器が保険適用に入っていなかったということについて、所有者である市としてどう思いますか。

○市長

いえ、保険には入っていました。ただ、あの場合は該当しなかったということです。

○記者

該当しないことが分かっていなかったということについて、しょうがないということですか。

○市長

しょうがないというよりも、該当になるものだと思っていたのではないのでしょうか。該当しなかったという報告は受けております。

○記者

そういうことを確認していなかったということですか。

○市長

事故を想定して、保険適用になるかならないかの確認ですか。

○記者

そうです。

○市長

私が聞いたのは、保険で対応できるという判断があったということです。事故が起きて、どの範囲までが保険の適用に該当するかという判断は無かったと思います。

○記者

結果的に、そこについてはやむを得ないという認識ですか。

○市長

やむを得ないというか、保険適用にならないものはなんともしょうがないとしか言いようがありません。今度は、高くてもこのようなことが起こり得るということも想定して、どのような保険に入ったらいいのかという検討をしていると思っています。

○記者

その他で質問です。先月末に固定資産税の課税誤りがありました。その後県内では、そのようなことが広がっている状況ですが、このような事案があったということについて、市長としてどのようにお考えですか。

○市長

やはりそういった法律というものをしっかりと理解をしながら、全ての行政運営を

進めていかなければならないと思った訳ですが、今回のケースはそう言われてみると、気づけなかった部分があったのかなと思います。米沢が端を発した訳ではありますが、他の首長からも「今調査中ですが、私のところでもそうかもしれない」という声も何件か聞いております。適正な課税についてはしっかりと行っていかないと、住民の皆様に迷惑をかけることになりますので、今後ともしっかりとやっていかなければならないと思います。

○幹事社

他に質問はありますでしょうか。

○秘書広報課長

無いようですので、令和元8月の定例記者会見を終了いたします。